

全事業所・工場でCO₂排出ゼロの電力へ転換

NIPPOは13日、全国の事業所とグループ合材工場を対象に、2022年度から二酸化炭素(CO₂)排出量ゼロの電力に切り替えると発表した。地球温暖化対策の一環。各電力会社のCO₂フリー電力メニューなどを活用し、年間のCO₂排出量(20年度実績27・5万ト)のうち5・4万トを削減する。

初弾として10月から本社ビル(東京都中央区京橋)で削減対



CO₂フリー電力メニューに切り替え予定の本社ビル

(NIPPO提供)

NIPPO

初弾は本社ビルで10月から

書を利用し、使用電力をCO₂フリー電力メニューに切り替える。

電力消費に伴うCO₂排出量270トを削減する。

燃料消費による年間CO₂排出量は20年度実績で20・8万ト。工場を対象とした重油から都市ガスへの燃料転換や高効率バーナーの導入などを継続し、50年のカーボンニュートラル実現に取り組んでいく。

本社ビルから切替

CO₂フリー電力導入

NIPPOが
温暖化対策

NIPPOは、地球温暖化
対策として、全国の事業所や
グループ合材工場が契約して
いる電力を、2022年度か
らCO₂を排出しない電力へ
切り替える予定だ。各電力会



NIPPO本社ビル

社のCO₂フリーメ
ニューなどを活用
し、年間CO₂排出
量(20年度実績27・
5万ト)のうち、5
・4万ト(全排出量
の約20%)を削減す
る。

スタートとして、東京都中
央区の本社ビルで使用してい
る電力を、10月からENEO
Sが提供する非化石証書を利
用したCO₂フリー電力メニ
ューへ切り替え、本社ビルの
電力消費に伴う年間CO₂排
出量270トを削減する。

このほか、燃料消費に伴う
年間CO₂排出量(20年度実
績20・8万ト)は、使用燃料
を重油から都市ガスへ切り替
えることや高効率バーナー導
入の継続により、50年のカー
ボンニュートラルに向けて取
り組んでいく。